# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | 松本油脂製薬株式会社 | 上場取引所 | 東 |
| コ ー ド 番 号 | 4365 | URL | https://www.mtmtys.co.jp/ |
| 代　　表　　者 | （役職名） 代表取締役社長 | （氏名） | 木村　直樹 |
| 問合せ先責任者 | （役職名） 管理本部副本部長 | （氏名） | 平野　憲弘　　TEL　072-991-1001 |
| 半期報告書提出予定日 | 2026年11月13日 | 配当支払開始予定日 | ― |

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 21,777 | 9.3 | 4,152 | 15.1 | 5,121 | 16.2 | 3,201 | △9.4 |
| 2026年３月期中間期 | 19,925 | △10.6 | 3,606 | △29.2 | 4,409 | △1.7 | 3,533 | 10.6 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,791百万円（　6.2%）　2026年３月期中間期　4,510百万円（　37.5%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円　銭 | 円　銭 |
| 2027年３月期中間期 | 1,103.55 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 1,217.85 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 109,514 | 94,660 | 84.6 |
| 2026年３月期 | 105,916 | 91,267 | 84.2 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　92,635百万円　　2026年３月期　89,231百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 |
| 2026年３月期 | ― | 0.00 | ― | 450.00 | 450.00 |
| 2027年３月期 | ― | 0.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 450.00 | 450.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円　銭 |
| 通期 | 41,100 | 0.1 | 8,100 | △0.7 | 9,700 | △10.3 | 6,800 | △15.4 | 2,343.93 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 4,512,651株 | 2026年３月期 | 4,512,651株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 1,611,551株 | 2026年３月期 | 1,611,511株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 2,901,107株 | 2026年３月期中間期 | 2,901,260株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類４ページ「１．経営成績等の概況」（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（会計方針の変更） …… 11
（セグメント情報等の注記） …… 12

# １．経営成績等の概況

## （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や中東情勢の地政学リスクの長期化による原材料・エネルギー価格の高止まり、政策金利の上昇や金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高21,777百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益4,152百万円(前年同期比15.1%増)、経常利益5,121百万円(前年同期比16.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益3,201百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

### ①　日本

日本における当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は20,441百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4,016百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でした。国内繊維向けも、落ち込んでいた短繊維用途が昨年底を打ち、改善しました。この結果、外部顧客に対する売上高は1,858百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でした。国内繊維向けはユーザーの生産体制再編もあり、全体的に縮小傾向となりましたが、トイレタリー向けは堅調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は12,122百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野につきましては、国内繊維向けは、衣料向けが低迷しました。一方で、家庭用洗剤向け及び海外向けは堅調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は397百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、海外向けは総じて好調でしたが、国内繊維向けは衣料用途は引き続き低迷しています。一方で、非繊維工業関連については自動車部品、建築材料向けが堅調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は6,062百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

### ②　アジア

アジアにおける当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は1,335百万円（前年同期比18.3%増）、セグメント利益（営業利益）は130百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、繊維市況の低迷により加工剤の販売が低調であったため、外部顧客に対する売上高は４百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、販売単価の高い繊維油剤の受注が回復したため、外部顧客に対する売上高は270百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

陽・両イオン界面活性剤の分野につきましては、繊維市況の低迷により柔軟剤関係が低調であったため、外部顧客に対する売上高は０百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、依然として世界的な衣料不況が続いておりますが、価格改定前の駆け込み需要が発生したため、外部顧客に対する売上高は1,060百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

## （２）当中間期の財政状態の概況

### ①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比3,597百万円（3.4％）増加して、109,514百万円となりました。流動資産は前期末比2,426百万円（3.3％）増加の75,141百万円、固定資産は前期末比1,170百万円（3.5％）増加の34,372百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が12,927百万円減少した一方、有価証券が15,179百万円、受取手形及び売掛金が908百万円前期末より増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）が192百万円、建物及び構築物（純額）が93百万円減少した一方、投資有価証券が1,413百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債の合計は、前期末比203百万円（1.4％）増加の14,853百万円となりました。流動負債は、前期末比495百万円（4.5％）減少の10,403百万円、固定負債は前期末比699百万円（18.6％）増加の4,449百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が478百万円増加した一方、未払法人税等が687百万円、賞与引当金が227百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が687百万円、退職給付に係る負債が13百万円前期末より増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前期末比3,393百万円（3.7％）増加して94,660百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が配当金の支払により1,305百万円減少の一方、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益の計上により3,201百万円増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の84.2％から84.6％となりました。

### ②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、4,048百万円減少（前年同期は1,691百万円の増加）し、30,077百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,757百万円の現金及び現金同等物の増加（前年同期は2,422百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益4,574百万円、減価償却費481百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,979百万円、売上債権の増加額968百万円、受取利息及び受取配当金655百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは4,459百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同期は362百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、有価証券の償還による収入9,000百万円、定期預金の払戻による収入510百万円であり、支出の主な内訳は、有価証券の取得による支出14,000百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1,392百万円の現金及び現金同等物の減少（前年同期は1,155百万円の減少）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額1,298百万円であります。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、現時点において2026年８月10日に公表の業績予想に変更はありません。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 33,331 | 20,404 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,698 | 10,607 |
| 電子記録債権 | 377 | 436 |
| 有価証券 | 22,001 | 37,181 |
| 商品及び製品 | 3,155 | 3,233 |
| 仕掛品 | 918 | 1,000 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,627 | 1,812 |
| その他 | 1,610 | 472 |
| 貸倒引当金 | △5 | △5 |
| 流動資産合計 | 72,714 | 75,141 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,369 | 9,379 |
| 減価償却累計額 | △6,868 | △6,971 |
| 建物及び構築物（純額） | 2,501 | 2,407 |
| 機械装置及び運搬具 | 17,143 | 17,280 |
| 減価償却累計額 | △14,794 | △15,124 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,348 | 2,156 |
| 土地 | 1,648 | 1,656 |
| 建設仮勘定 | 47 | 57 |
| その他 | 1,636 | 1,651 |
| 減価償却累計額 | △1,472 | △1,449 |
| その他（純額） | 163 | 202 |
| 有形固定資産合計 | 6,710 | 6,481 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 10 | 9 |
| 無形固定資産合計 | 10 | 9 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 25,464 | 26,878 |
| 繰延税金資産 | 7 | 6 |
| その他 | 1,014 | 1,001 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 投資その他の資産合計 | 26,481 | 27,881 |
| 固定資産合計 | 33,201 | 34,372 |
| 資産合計 | 105,916 | 109,514 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 7,267 | 7,745 |
| 未払法人税等 | 1,988 | 1,301 |
| 賞与引当金 | 343 | 115 |
| その他 | 1,299 | 1,240 |
| 流動負債合計 | 10,899 | 10,403 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 623 | 637 |
| 資産除去債務 | 121 | 121 |
| 繰延税金負債 | 2,921 | 3,609 |
| その他 | 84 | 82 |
| 固定負債合計 | 3,750 | 4,449 |
| 負債合計 | 14,649 | 14,853 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,090 | 6,090 |
| 資本剰余金 | 6,612 | 6,612 |
| 利益剰余金 | 81,200 | 83,096 |
| 自己株式 | △12,136 | △12,136 |
| 株主資本合計 | 81,767 | 83,662 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,146 | 8,637 |
| 為替換算調整勘定 | 61 | 102 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 256 | 232 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,464 | 8,973 |
| 非支配株主持分 | 2,035 | 2,024 |
| 純資産合計 | 91,267 | 94,660 |
| 負債純資産合計 | 105,916 | 109,514 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 19,925 | 21,777 |
| 売上原価 | 14,216 | 15,405 |
| 売上総利益 | 5,709 | 6,372 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,102 | 2,219 |
| 営業利益 | 3,606 | 4,152 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 164 | 343 |
| 受取配当金 | 269 | 312 |
| 持分法による投資利益 | 69 | 84 |
| 為替差益 | 95 | － |
| 有価証券売却益 | － | 143 |
| その他 | 224 | 132 |
| 営業外収益合計 | 822 | 1,015 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 支払手数料 | 5 | 15 |
| 為替差損 | － | 29 |
| 投資事業組合運用損 | 4 | － |
| その他 | 10 | 1 |
| 営業外費用合計 | 20 | 46 |
| 経常利益 | 4,409 | 5,121 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 624 | － |
| 特別利益合計 | 624 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 41 | 340 |
| 工業用水減量負担金 | － | 206 |
| 特別損失合計 | 47 | 547 |
| 税金等調整前中間純利益 | 4,985 | 4,574 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,335 | 1,315 |
| 法人税等調整額 | 92 | 12 |
| 法人税等合計 | 1,427 | 1,327 |
| 中間純利益 | 3,557 | 3,246 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 24 | 45 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 3,533 | 3,201 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 3,557 | 3,246 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 908 | 1,491 |
| 為替換算調整勘定 | 45 | 76 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △24 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 952 | 1,544 |
| 中間包括利益 | 4,510 | 4,791 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 4,461 | 4,710 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 48 | 80 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 4,985 | 4,574 |
| 減価償却費 | 515 | 481 |
| 受取利息及び受取配当金 | △433 | △655 |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 為替差損益（△は益） | △23 | △71 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △69 | △84 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △157 | △968 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 56 | △345 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △720 | 479 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △217 | △227 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △14 | △21 |
| 固定資産除売却損益（△は益） | 5 | 0 |
| その他の営業外損益（△は益） | 4 | △44 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △13 | △108 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △6 | △171 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △71 | △89 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 41 | 340 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △624 | － |
| 小計 | 3,258 | 3,087 |
| 利息及び配当金の受取額 | 420 | 649 |
| 利息の支払額 | △0 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △1,256 | △1,979 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,422 | 1,757 |

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △209 | △132 |
| 有価証券の取得による支出 | △1 | △14,000 |
| 有価証券の償還による収入 | － | 9,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △629 | △146 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,149 | － |
| 投資有価証券の償還による収入 | 58 | 316 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △0 | － |
| 定期預金の預入による支出 | △510 | △10 |
| 定期預金の払戻による収入 | 510 | 510 |
| 長期貸付けによる支出 | △1 | △1 |
| 保険積立金の積立による支出 | △37 | △10 |
| 保険積立金の解約による収入 | 29 | 13 |
| その他 | 4 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 362 | △4,459 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | － | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,132 | △1,298 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △21 | △91 |
| リース債務の返済による支出 | △1 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,155 | △1,392 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 62 | 45 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,691 | △4,048 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 32,832 | 34,125 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 34,523 | 30,077 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（金融商品会計に関する実務指針の適用）

「金融商品会計に関する実務指針」（移管指針第９号　2025年３月11日）を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---|---|---|---|
| | 日本 | アジア | |
| 売上高 | | | |
| 陰イオン界面活性剤 | 1,770 | 4 | 1,775 |
| 非イオン界面活性剤 | 11,320 | 201 | 11,522 |
| 陽・両性イオン界面活性剤 | 380 | 0 | 381 |
| 高分子・無機製品等 | 5,324 | 921 | 6,246 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 18,797 | 1,128 | 19,925 |
| 外部顧客への売上高 | 18,797 | 1,128 | 19,925 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 130 | ― | 130 |
| 計 | 18,927 | 1,128 | 20,056 |
| セグメント利益 | 3,521 | 87 | 3,609 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 3,609 |
| 棚卸資産の調整額等 | △2 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 3,606 |

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---|---|---|---|
| | 日本 | アジア | |
| 売上高 | | | |
| 陰イオン界面活性剤 | 1,858 | 4 | 1,863 |
| 非イオン界面活性剤 | 12,122 | 270 | 12,393 |
| 陽・両性イオン界面活性剤 | 397 | 0 | 397 |
| 高分子・無機製品等 | 6,062 | 1,060 | 7,123 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 20,441 | 1,335 | 21,777 |
| 外部顧客への売上高 | 20,441 | 1,335 | 21,777 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 209 | 3 | 213 |
| 計 | 20,651 | 1,339 | 21,990 |
| セグメント利益 | 4,016 | 130 | 4,146 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 4,146 |
| 棚卸資産の調整額等 | 5 |
| 中間連結損益計算書の営業利益 | 4,152 |